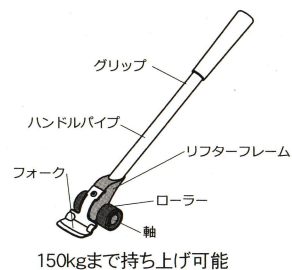


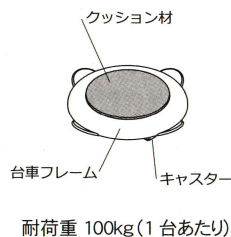
各部の名称とセット内容

このセットで最大 300kgまで移動可能

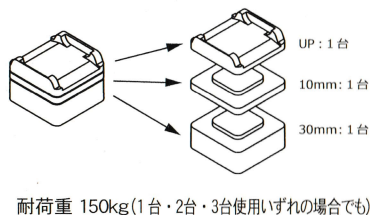
【リフター】 1 台



【台車】 4 台



【てこベース】 1 セット
(UP : 1 台、10mm : 1 台、30mm : 1 台)



品質表示

	外形寸法	構造部材
リフター	幅 64× 奥行 399× 高さ 50(mm)	ABS 樹脂、ステンレススチール、スチール、TPR
台車	幅φ139(最大 165)× 高さ 28(mm)	ABS 樹脂、スチール、発泡ゴム
てこベース	幅 80× 奥行 80× 高さ 20,16,36(mm)	ABS 樹脂

安全上のご注意



- 道具は本来の使用目的以外には使用しないでください。
- 無理な使い方や誤った使い方はしないでください。危害や損害の原因になります。
- 割れ・欠け・磨耗・変形などの異常が認められた場合は使用しないでください。
- 無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりさせバランスを保つようにしてください。
- 分解・改造をしないでください。加熱・加工などをすると、破損・けがの原因になることがあります。
- 傾斜や段差のある床面では使用しないでください。転倒や落下により破損・けがの原因になることがあります。
- 背の高い家具は二人以上で作業してください。転倒による破損・けがの原因になることがあります。
- 大きな家具や柔らかい床は二人以上で作業してください。転倒による破損・けがの原因になることがあります。
- 持上げた家具の下に手足を入れないでください。けがの原因になります。
- 桐など柔らかい素材の家具や床には注意をしてください。リフターのフォークによりキズ・凹みの原因になることがあります。
- じゅうたん・カーベットの床面では使用できません (台車の設置・走行ができません)。

PiCUS

www.picus.co.jp/

製造発売元

 大洋精工株式会社
PICUS. TAIYO SEIKO CO.,LTD.

本社

〒579-8025 大阪府東大阪市宝町 9-38
tel.072-985-3535 fax072-985-3633

奈良工場

〒639-0274 奈良県葛城市今在家 74

PiCUS らくらくヘルパー360° LakuLakuHELPER360°

プロ仕様

MODEL
ZP-360

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。使用上の重要な情報が書かれています。



このたびは、らくらくヘルパー 360°をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に安全上のご注意はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

作業前の確認事項

- 作業前にリフター、台車、てこベースの各部に割れ・破損・変形がないことを確認してください。
- 異常があるときは使用を中止してください。
- 移動したい家具の上に載っているものを取り除いてください。また、耐震金具や補助具などで家具を固定している部材は必ずはずし、周りの安全を確認してから作業をしてください。
- 介護ベッドを移動するときは、人がベッドに寝ていないことを確認し、電源コードをコンセントからはずしリモコンコードと合わせて作業の障害にならないように処理をしてください。また、ベッド以外の福祉用具（テーブル、車いす、歩行器、移動用リフトなど）や医療機器が周りにないことを確認してから作業をしてください。

使用方法

1 脚のない家具の移動

- ① リフター1台と台車4台を手元に準備します。
- ② 図-1のように、移動したい家具の下にリフターのフォークを差し込みます。
※フォークが入りにくい場合は無理に入らず、家具の上部を軽く押してフォークを入れる所を浮かせると簡単に差し込みます。
- ③ フォークがしっかり入りましたら、リフターのハンドルをゆっくりと押し下げます。リフターは「てこの原理」で、ハンドルに加えた力の約6.5倍で家具を持ち上げることができますので、ゆっくりと軽い力を加えてください。
※勢いよく力を入れると、家具のキズ付きや転倒の原因になることがあります。
- ④ 家具の下に台車を入れる隙間ができましたら台車を家具の下に設置します。このとき、必ず台車の安全ツマミ（図-2参照）を指で持ってください。台車全体を握って設置しないでください。
- ⑤ この要領で移動したい家具の四隅の脚に台車を設置します（図-3参照）。
- ⑥ 台車の進路に段差、異物や傾斜のないことを確認し、ゆっくりと移動します。
- ⑦ 移動が終わりましたら再びリフターで家具を持ち上げて台車をすべて取り除きます。

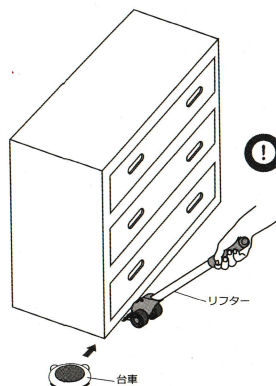


図-1 家具の持ち上げと台車の設置

！フォークやハンドルパイプに変形があらわれたときは、すぐに使用を中止してください。



図-2 台車

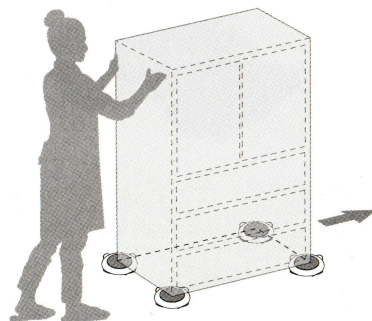


図-3 家具の移動使用例

2 脚付き家具の移動

- ① リフター1台と台車4台そして、てこベース1セットを手元に準備します。
- ② 移動したい脚付き家具の底面とてこベースの天面が同じ高さになるように、てこベースの組合せを変えます（図-4参照）。
- ③ 図-5のように、てこベースを設置して脚付き家具の底面にリフターのフォークを差し込みます。
- ④ フォークをしっかりと差し込みリフターのハンドルをゆっくりと押し下げます。リフターは「てこの原理」で、ハンドルに加えた力の約6.5倍で家具を持ち上げることができますので、ゆっくりと軽い力を加えてください。
※勢いよく力を入れると、家具のキズ付きや転倒の原因になることがあります。
- ⑤ 家具の脚の下に台車を入れる隙間ができましたら台車を脚の下に設置します。このとき必ず台車の安全ツマミ（図-2参照）を指で持ってください。台車全体を握って設置しないでください。
- ⑥ この要領で移動したい家具の四隅の脚に台車を設置します（図-6参照）。
- ⑦ 台車の進路に段差、異物や傾斜のないことを確認し、ゆっくりと移動します。
- ⑧ 移動が終わりましたら再びリフターと、てこベースで家具を持ち上げて台車をすべて取り除きます。

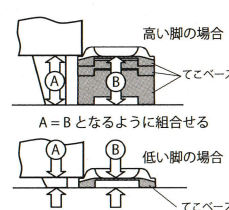


図-4 てこベースの設置

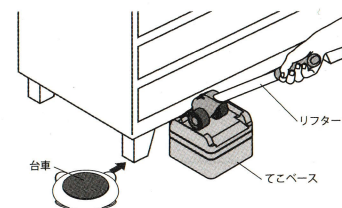


図-5 脚付き家具の持ち上げと台車の設置

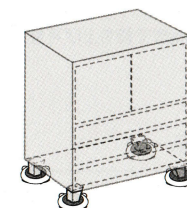


図-6 脚付き家具の移動使用例

3 介護ベッド（固定脚タイプ）の移動

- ① リフター1台と台車4台そして、てこベース1セットを手元に準備します。
- ② 移動したい介護ベッドの固定脚に近いフレーム底面とてこベースの天面が同じ高さになるように、てこベースの組合せを変えます。
- ③ 図-7のように、てこベースを設置してフレーム底面にリフターのフォークを差し込みます。
- ④ フォークをしっかりと差し込みリフターのハンドルをゆっくりと押し下げます。リフターは「てこの原理」で、ハンドルに加えた力の約6.5倍で家具を持ち上げることができますので、ゆっくりと軽い力を加えてください。
※勢いよく力を入れると、介護ベッドのキズ付きの原因になることがあります。
- ⑤ 固定脚の下に台車を入れる隙間ができましたら台車を固定脚の下に設置します。
このとき必ず台車の安全ツマミ（図-2参照）を指で持ってください。
台車全体を握って設置しないでください。
- ⑥ この要領で移動したい介護ベッドの四隅の固定脚に台車を設置します（図-8参照）。
- ⑦ 台車の進路に段差、異物や傾斜のないことを確認し、ゆっくりと移動します。
- ⑧ 移動が終わりましたら再びリフターと、てこベースで介護ベッドを持ち上げて台車をすべて取り除きます。
- ⑨ 介護ベッドの電源コードをコンセントに差し込み、リモコンスイッチでベッドが操作できることを確認してください。

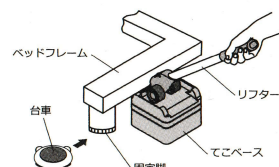


図-7 介護ベッドの持ち上げと台車の設置

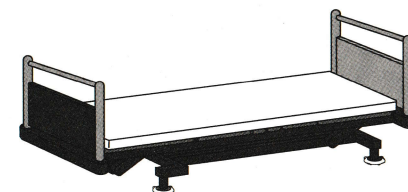


図-8 介護ベッドの移動使用例